

災害時でも活躍、お薬手帳の活用

第2回…「お薬手帳はお持ちですか」

「お薬手帳」が誕生して約20年。今では薬局利用者の9割の方がお持ちいただいています。すでに皆様の身近なものとなり、広辞苑にも「お薬手帳」という言葉が新たに掲載されました。

薬局に処方箋を持参される時や市販薬

医療機関を受診す

まとめ1冊で管理

災害時にも重要な役

等を購入する時、健康に関する相談等がある時、ぜひお薬手帳をご提示ください。薬剤師が、処方内容や、患者さんの副作用歴、アレルギー歴等を確認し、調剤もしくは購入された薬の情報を記入します。

また、副作用が生じた時にも、過去に服用した薬の情報があれば、原因究明や予防対策に役立ちます。

「いつもの病院が被災し受診できない」といったことが起こります。

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨、北海道地震などの被災地においても多くの活用例が報告されています。普段の薬の管理だけでなく、災害など万が一の場合に備える意味でもお薬手帳を上手

に活用していただきたいと思えます。紙のお薬手帳では忘れてしまうという方には、アプリの「電子お薬手帳」もご利用いただけます。スマートフォンからダウンロードいただくか、かかりつけの薬局で相談してみてください。



（公）日本薬剤師会

http://www.nichiya
ku.or.jp/

四谷3-3-1

東京都新宿区